



相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791)23-0800



HPのQRコード

相生歴史巡検

七月は台風で順延されましたが、九月二十三日(日)、今回は快晴の中、松本恵司先生を講師に迎え、二年生四名・一年生八名の十二名で相生歴史巡検に行ってきました。



今年、相生歴史巡検は、古来の歴史を巡り、古くから相生の歴史を語り継いでいる歴史を堪能し、ふるさと相生を振り返る素晴らしい一日になりました。

第十四回体育大会

九月二十六日(水)、「不撓不屈(ぶとうふくつ)」のスローガンの下、第四十二回体育大会を実施しました。



入場行進の様子

今年から新たに成したクラスTシャツの着用・二年生中心の応援合戦・運動部活動リレー・クラス団対抗リレーを取り入れました。

午前の部では、男女100m・男子200m・女子4×100mリレー・男子4×200mリレーの予選、二年生中心の応援合戦、綱引き、生徒会種目「障害物リレー」、20kgの土嚢を頭上に持ち上げている時間を競う「Power of AIOI」、一年生学年演技「Here We Go...」を行いました。



応援合戦最優秀賞 2年5組

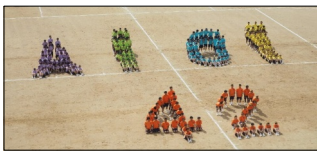


綱引き優勝 5組団

の垣根を越え、組対抗で戦いました。結果は、五組団が優勝しました。生徒会種目「障害物リレー」は、一走目が布に入ってジャンプ、二走目が二人三脚、三走目がパン食い競争、四走目が借り物競走をしました。一年生の学年演技は、息の合った動きで集団演技を披露しました。



障害物リレー



1年生学年演技 人文字(AIOI 42)

「AIOI42」。カラフルなクラスTシャツが、グラウンドに美しい人文字を描いていました。午後の部は、運動部行進から始まり、運動部活動リレー、各クラスの決勝、クラス団対抗リレーで終了しました。運動部活動リレーは、各運動部がそれぞれの競技をアピールしながら、トラック一周をリレーしました。大縄跳びは、三回の試技を行い、最高回数とそのクラスの記録となります。今年の最高は二年二組の五十四回でした。



大縄跳び優勝 2年2組

た。クラス団対抗リレーでは、各クラス男女一名ずつ(女子100m・男子200m)の合計六名のクラス団で900mをリレーしました。総勢十四名の教員チームも参戦。生徒たちは学年の枠を越え、バトンをつなぎました。



クラス団対抗リレー

最後に表彰式を行いました。結果は、以下の通りです。

- 総合優勝 二年二組、二位二年五組、三位三年三組
- 特別優勝 二組団、二位五組団、三位四組団
- 応援合戦優勝 二年五組、二位二年四組、三位二年三組
- クラス旗最優秀賞 一年四組、優秀賞 二年二組、二年三組



クラス旗最優秀賞 1年4組

高大連携事業 岡山大学訪問

九月二十八日(金)、一・二年生自然科学コースの生徒八十名が、岡山大学を訪問しました。まず、アドミッションセンターから大学概要説明があり、次に、環境理工学部環境管理工学科の

学科長から学科の説明を伺いました。その後、岡山大学水循環施設のビオトープ池を見学。ビオトープ池に生息するトンボや植栽した水生植物、気象観測装置などの説明をしていただきました。生徒たちもいくつか質問するなど興味を持ちながら見学しました。



最後に、①植生管理学分野②生産盤管理学分野③土壌圏管理学分野の3つに分かれて、研究室の中に入り、研究内容の説明をしていただきました。③では、二つの研究室を見学させていただきました。大学院生による研究内容などのお話を聞くこともできました。また、研究室の見学中、廊下の掲示物にはほとんど英語が用いられていることに驚き、英語が大学では必要であることを再認識させられました。全体会では、高校で学んできたことが大学・大学院で活かされ、研究のためには欠かせない知識であること、「質問すること」とはとても大切で意欲的に興味を持って学習してほしいことを教えていただきました。岡山大学の敷地の大きさだけでなく、研究室の設備など、高校とは違ったスケールの大きさに驚かされ、より一層、大学への進学に興味を抱いた一日となりました。